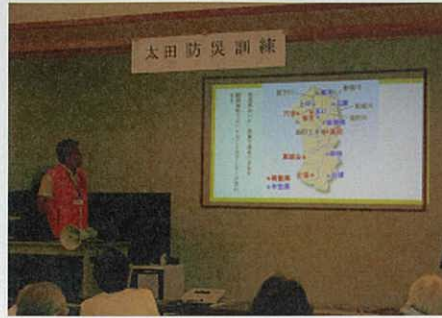


大字太田区 太田自主防災会(葛城市)

項 目	内 容
世帯数・人口	
◇世帯数	217世帯(平成29年8月1日現在)
◇人口	581人(平成29年8月1日現在)
◇内65歳以上人口(高齢化率)	209人高齢化率36%(平成29年8月1日現在)
地域の特徴	
◇まちの特徴	葛城山麓に位置し、山間部から東西の平野部へのなだらかな傾斜地に形成された集落です。南阪奈道路(葛城IC)南側には、道の駅かつらぎや山間部には、棚機神社があります。
◇過去の災害、想定される災害	過去には、平成10年台風7号で、大きな被害を受け、また最も大きな被害が予想されるのは、内陸型地震では中央構造線断層帯です。一方海溝型地震では、東南海・南海地震がありますが、区としては、影響は、小さいと想定されています。
設立年月日	平成23年7月23日
設立のきっかけ	今後、大型地震や異常気象による大雨・大型台風等による災害発生が考えられる中で自分の身は自分で守ると共に、普段から近隣の人々とお互い協力しあいながら防災活動を通じて命を守る。
目的・キャッチフレーズ	区民が自主的な防災活動を行うことによる被害の防止及び軽減を図る。自助・共助による被害に強い太田を目指す。
予算規模	50,000円
主な活動内容	
◇防災活動	平成24年度 太田防災訓練実施 平成25年6月 太田防災訓練実施・11月救命講習会実施 平成26年3月 自警団消火器・消火栓取り扱い訓練・11月土のう作り、煙中訓練実施 平成27年度 普通救命訓練実施 平成28年度 太田防災訓練実施 平成29年度 太田防災訓練実施(避難訓練実施、講話、三角巾応急処置、簡易担架の作成、炊き出し訓練、簡易スリッパの作成)
◇防災と一体的にとりくんでいる活動(防犯・美化・福祉など)	葛城市消防団及び葛城市防災士会との合同訓練実施
主な連携先(行政・学校・企業・近隣の団体など)	葛城市・葛城市消防団・葛城市防災士会・奈良県広域消防組合葛城消防署

葛城市太田防災訓練(葛城市太田地区)



子どもから大人まで分かりやすい防災紙芝居



毛布1枚のできる簡易担架



アルファ米や袋で炊くご飯などの炊き出し

大きな地震が発生したという想定で住民が葛城市太田集落センターに避難する訓練を行いました。センターでは、地震や土砂災害の映像等を使った講習会、防災紙芝居、三角巾を使った応急処置(頭・腕・足)、簡易担架作成、アルファ米等を使用した炊き出し訓練などを実施しました。



啓発冊子、炊き出し訓練使用の保存水



履物が無くても簡単につくれる新聞紙スリッパ



三角巾を使い応急処置を指導、補足でロープを使い結び目を再現する様子

